

平成26年度 事業計画

1. 芸術活動の推進及び援助に関する事業

－小・中学生によるニュー・イヤーズ・コンサートの主催－

児童・生徒の皆さんが、音楽活動を通して、豊かな人格形成の一助になることを願い、熱心に音楽活動を行っている市内の小・中学校に対し、本格的な音楽ホールで日頃の活動成果を発表する場を提供し、音楽活動を支援するものです。

当事業は、姫路市教育委員会との共催で、平成7年度から毎年開催しており、今回で20回目の開催となります。

実行面では、第15回から、音楽分野の幅を広げると共に、合唱と器楽のコラボレーションを図るため、合唱演奏校に加え、中学校の吹奏楽演奏校を公募し、引続き開催いたします。

また、児童・生徒の手本となる模範演奏として、男女若手声楽家と合唱団を引続き招待したいと考えています。

日時：平成27年1月11日（日）13時～15時の予定

場所：パルナソスホール

主催：（公財）山陽特殊製鋼文化振興財団、姫路市教育委員会

後援：神戸新聞社、姫路ケーブルテレビ株式会社

2. 学術研究活動の援助に関する事業

－学術研究助成－

創造的な科学技術の育成・振興を図るため、ものづくりの高度化とその発展に資する学術研究に対して助成し、以って学術文化への貢献、広く地域社会の発展への寄与及び雇用機会の伸長を目的とする学術研究活動への援助を行います。

公募期間：平成26年4月～8月

公募対象：県下の国・公・私立大学（短期大学を含む）および大学院の理工系学部・学科（その附属研究機関を含む）ならびに工業高等専門学校に所属する研究者。

（公募先）

明石工業高等専門学校、関西学院大学、神戸大学、神戸市立工業高等専門学校、甲南大学、産業技術短期大学、姫路獨協大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学の9校

選考方法：公募締切後、9月開催予定の「学術選考委員会（※）」で選考し、決定します。なお、助成実施者は平成27年3月開催の理事会・評議員会で報告します。

（※）学術選考委員は、学術研究に卓越した見識を有する者のうちから理事長が4名を委嘱し、学術選考委員会を構成する。

助成金額：総額1,500千円以内とし、1件あたり500千円以内とする。

なお、学術選考委員会での選考の結果、助成対象者が3名以上となる

場合は、助成金額を按分する。

助成期間：原則1年としますが、研究内容によっては2年まで継続を認める

助成時期：平成26年10月

3. 文化の普及及び啓発に関する事業

－文化講演会の主催－

現在および将来にわたり話題・関心を集めるテーマを選定し、その関係の有識者を講演者として文化講演会を主催するもので、本年度は2回開催を予定しております。

日時：平成26年5月27日（金）14時半～16時の予定

場所：姫路市市民会館2階大ホール

講師：遠藤誉氏（筑波大学名誉教授、東京福祉大学国際交流センター長、作家）

演題：『 **習近平政権－噴き出す矛盾と外交戦略－** 』

＜講演骨子＞

2012年11月に誕生した習近平政権は、薄熙来裁判を乗り切るために「毛沢東の大衆路線」をスローガンにしたが、しかし国内から噴き出す矛盾は抑える限界を超え始めている。年間20万件に及ぶ暴動の根源は、中国が社会主義国家と自らを定義しながらも一党支配の下で自由競争を許しているところにある。2013年に習近平政権が反日デモを抑制したのは、反日が反政府へと転換するのを知っているからだ。

その一方では売国政府と罵倒されないために反日強行策は緩めていない。本講演では中国の内部分析を基に、中国の意思決定のメカニズムや外交戦略を読み解き、日本のあるべき姿勢を共に考察したい。

主催：（公財）山陽特殊製鋼文化振興財団

後援：姫路市、姫路市教育委員会、姫路商工会議所、姫路経営者協会、
神戸新聞社

平成 26 年度学術研究助成公募要綱

1. 学術研究助成

(1) 内容

大学等におけるものづくりの高度化とその発展に資する技術研究への助成を行い、以って地域社会の発展への貢献ならびに雇用機会の伸長を目的とする学術研究への助成。

(2) 公募対象

県下の国・公・私立大学（短期大学を含む）および大学院の理工系学部・学科（その附属研究機関を含む）ならびに工業高等専門学校に所属する研究者。

(公募先)

明石工業高等専門学校、関西学院大学、神戸大学、神戸市立工業高等専門学校、甲南大学、産業技術短期大学、姫路獨協大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学 の 9 校

(3) 助成金額・期間

助成金額は、総額 150 万円以内とし、1 件あたり 50 万円以内とする。期間は原則 1 年としますが、研究内容によっては、次年度以降の継続を認める。

(4) 学術研究助成者の報告

助成期間終了時に、研究成果および決算報告を別に定める様式に従って報告していただきます。研究期間が 1 年を超える場合は中間報告をしていただきます。

2. 推薦者・推薦手続き

推薦者は、大学および大学院は学長、学部長、研究所長またはこれらに準ずる方とし、短期大学（工業高等専門学校）は学長（校長）またはこれに準ずる方とします。

所定の推薦書に必要事項を記載の上、1 部提出のこと。

3. 推薦締切日

平成 26 年 8 月末

4. 選考方法

公募締切後、平成 26 年 9 月開催予定の選考委員会で選考し、決定する。

助成実施者は、平成 27 年 3 月開催の理事会・評議員会で報告します。

なお、評価は、① 産業界の発展への寄与 ② 独創性・独自性 ③ 着眼点 ④ 研究計画の実現可能性 ⑤ 民間助成の必要性、を考慮して選考をします。

◇選考委員 4 名（外部委員 3 名と山陽特殊製鋼㈱から 1 名）◇

学術研究に卓越した見識を有する者のうちから理事長が任命する。

5. 助成の決定

助成の決定は、平成 26 年 10 月を予定しております。推薦者および申請者に、文書で結果をお知らせいたします。

以上

文化講演会のご案内

平成26年

日時

5/27(火)
午後2:30~4:00

場所

姫路市市民会館
2階大ホール



講師

えんどう ほまれ
遠藤 誉氏

筑波大学名誉教授
東京福祉大学国際交流センター長
作家

《プロフィール》

1941年 中国吉林省长春市生まれ
1953年 帰国

中国研究の第一人者で中国社と太いパイプをもつ。中国では、中国国务院西部開発弁公室人材開発法規組人材開発顧問。中国政府のシンクタンクである中国社会科学院社会学研究所客員研究員・教授、北京大学アジア・アフリカ研究所日本研究センター特約研究員、上海交通大学客員教授などを歴任。日本では、内閣府総合科学技術会議専門委員、留学生教育学会会長などを歴任。

著書多数の中、『チャイナ・ジャッジ 毛沢東になれなかった男』(2012年9月)、『卡子(チャーズ) 中国建国の残火』(2012年12月)、『チャイナ・ギャップ 噛み合わない日中の歯車』(2013年2月)(以上、朝日新聞出版)、『完全解説「中国外交戦略」の狙い』(2013年7月、WAC)など他多数。

NHK「日曜討論」、「ニュース・ウオッチ9」などメディア出演多数。

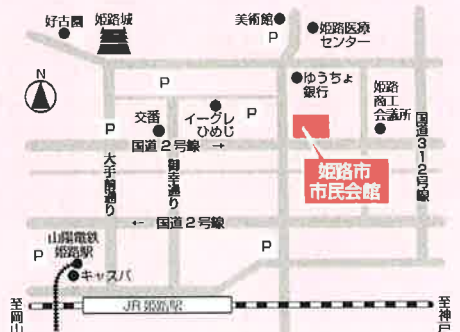
「噴き出す矛盾と外交戦略」

「習近平政権

2012年11月に誕生した習近平政権は、薄熙来裁判を乗り切るために「毛沢東の大衆路線」をスローガンにしたが、しかし国内から噴き出す矛盾は抑える限界を超え始めている。年間20万件に及ぶ暴動の根源は、中国が社会主義国家と自らを定義しながらも一党支配の下で自由競争を許しているところにある。2013年に習近平政権が反日デモを抑制したのは、反日が反政府へと転換するのを知っているからだ。その一方では売国政府と罵倒されないために対日強攻策は緩めていない。本講演では中国の内部分析を基に、中国の意思決定のメカニズムや外交戦略を読み解き、日本のあるべき姿勢を共に考察したい。

今年の文化講演会は、中国研究の第一人者で、中国に造詣の深い遠藤誉氏を講師にお迎えし、「習近平政権—噴き出す矛盾と外交戦略」を演題にご講演いただきます。

多くの皆さま方のご来場を心からお待ちしております。



- 車ご利用の場合:市民会館には駐車場がありませんので周辺の公営駐車場など、有料駐車場をご利用下さい。
- バスご利用の場合:神姫バス待合所西のりばから22番「夕陽ヶ丘」行き、21番「鹿島神社」行きで「市民会館前」下車。
- 徒歩の場合:JR姫路駅・山陽電車姫路駅から北東へ15分。

お問合せ先・お申込み先

参加お申込みは、FAX、Eメールもしくは郵送で財団事務局宛にお申込み下さい。

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。なお、参加者には事前に入場券をご送付いたします。当日は、入場券をお持ちでない方のご入場は出来ませんので予めご了承下さい。

公益財団法人 山陽特殊製鋼文化振興財団 事務局

〒672-8677 姫路市飾磨区中島 3007 番地
F A X: 079-235-6390
E-mail: sfujii@himeji.sanyo-steel.co.jp
T E L: 079-235-6379